

子育て支援実績 富山市1位

NPO法人「エガリテ大手前」は27日、市町村が策定した次世代育成支援行動計画の前期（06～08年度）の進捗状況を独自に検証し、ランキングをまとめた。政令市と中核市計56市のうち1位は富山市で「保育所の待機児童ゼロ」などが評価された。

行動計画の策定は次世代育成支援対策推進法で義務化され、各自治体は保育所の定員増の数値目標などを設定。10年計画で09年度に

NPOが独自検証

2位 新潟市 3位 岡山市

前期が終了し、達成率も公表している。ただ目標を低くすれば達成率が高くなることから、同NPOは目標の難易度も含めて評価し、「やる気と実績ランキング」を算出した。
トップの富山市は、休日子どもを預かる「休日保育」の施設がら園から24園と約5倍に拡大した。2位は新潟市で、待機児童がいなかったらえ、地域子育て支援センターの設置数から年間では

倍増。3位は岡山市で、通算保育の定員が5年で約2割増えた。
県内23区は別に集計し、1位は千代田区、2位は北区、3位は新宿区だった。千代田区は人口が少なく調子な級収を背景に保育所定員数が充実。北区は延長保育が23区でトップだった。
同NPOの古久保俊嗣代表は「前期をしっかり総括して後期に生かしてほしい」と話している。ランキングはNPOのホームページ（<http://egaliteo.com/>）で公表する予定。【田村佳子】

毎 日 新 聞

2011年(平成23年)6月28日(火) 14版 社会